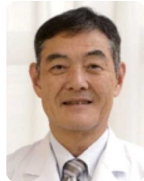




# 静岡市立静岡病院

開設者/地方独立行政法人 静岡市立静岡病院  
所在地/〒420-8630 静岡市葵区追手町10番93号  
URL /http://www.shizuokahospital.jp/



病院長  
小野寺 知 哉

- 病床数 506床 (一般病床500床、感染症病床6床)
- 医師数 173名
- 指導医数 59名
- 入院患者/日 406.1名
- 外来患者/日 1,043.8名
- 救急医療/日 35.8名 (令和5年1~12月の平均)



静岡市立静岡病院は、150年以上の歴史を有する市の中心部に位置した、31科・506床の総合病院で、ハートセンター・大動脈・血管センター・消化器総合センター・脳卒中センターを併設し、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院の認定を受けた静岡市の中核病院です。歴史と実績のある循環器内科、心臓血管外科をはじめ、全ての診療科において高度専門医療を提供しています。救急医療にも力を入れ、「ことわらない救急医療」をモットーに市域において応需率トップ、救急搬送患者数は20%以上を占めるなど地域医療に貢献しています。また、教育研修管理センターを設置して研修医・専攻医の教育に力を入れています。

診療科目 内、循、心外、消、外、消外、腎内、内分、脳内、血内、呼、呼外、緩和ケア、小、精、整、脳外、皮膚、形成、泌、産婦、眼、耳、頭頸部外科、口腔、放治、放診、リハ、麻、病理、救急

**研修医コメント** 現役研修医が教える静岡病院の臨床研修の魅力

その1：救急研修について  
当院では研修医が主体となって救急初期対応を行います。その際は上級医が手厚く指導してくださり、メディカルの方々も優しくサポートしていただけます。忙しい日もありますが、救急研修を終えると幅広く素養が身につく、医師として一段と成長できていることを実感できます。

その2：ハートセンターについて  
当院の特徴として、循環器内科と心臓血管外科が合同で診療に取り組むハートセンターの存在があり、内科・外科の垣根を越えて最善の治療法を検索し、実践する医療を実現しています。研修医のうちから最先端の診療に携われることはとても刺激的であり、将来の糧となる経験を積むことができます。

その3：病院の雰囲気の良い  
採用面接で、この病院を選んだ一番の理由を教えてくださいと質問され、「この病院の雰囲気が好きだったからです」と答えたことをまだ鮮明に記憶しています。実際に働き始めると覚えることばかりですが、様々な職種の方々のおかげで日々少しずつ成長しています。雰囲気というものは文字では伝わらなもので、是非実際に見学に来て実感してください。

その4：立地の良さ  
静岡病院は静岡市の中心街に立地しています。普段の買い物や食事には困りませんし、飲食店も多く営業後に同期や上級医の先生と気軽に食事に行くことができます。車で少し走れば自然も豊かで、休日には同期とバーベキューをしたり、川遊びをしたりしてリフレッシュすることができます。静岡駅にも好アクセスで東京にも名古屋にも1時間圏内と交通の利便性も良く、帰省や旅行がしやすいのも特徴です。

処 遇		身分		
		地方独立行政法人職員（非常勤）		
給 与	1 年 次 基 本 給 / 月	366,700円	2 年 次 基 本 給 / 月	373,900円
	1 年 次 賞 与 / 年	1,072,597円	2 年 次 賞 与 / 年	1,682,550円
	諸 手 当	時間外手当、住居手当		
宿 舎	1 年 次 基 準 支 給 額 / 年	7,600,000円程度	2 年 次 基 準 支 給 額 / 年	8,000,000円程度
	有	当 直 有 (平均 月 3回)		
保 険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、勤務医賠償責任保険			

# 臨床研修医(初期研修医)の研修プログラム

- プログラム名 静岡市立静岡病院臨床研修プログラム
- 募集定員 13名(予定)(令和5年度採用数 13名)
- 協力型病院 溝口病院、清水駿府病院、日本平病院、静岡県立こころの医療センター、静岡市立清水病院、静岡県立こども病院、共立蒲原総合病院、静岡赤十字病院
- 協力施設 静岡県赤十字血液センター、静岡市保健所、西伊豆健运会病院、熱川温泉病院、清水厚生病院、岡本石井病院、土別市立病院(北海道)、翔南病院(沖縄県)、静岡市研修医を育む会参加診療所 ほかに

## プログラムの特色

当院は、一般的な疾患、救急患者が多数経験できる市中の総合病院です。当院の研修プログラムでは、実地における経験を通し、医師としての基本的な知識、技術、態度を習得できることを目標としています。研修のあり方としては、臨床医としても基本的な実力が養成されるよう、(1) 基本的・一般的なことを反復研修、(2) マニュアルを活用した効率的研修、(3) EBMに基づく医療の修得と実践を基本としています。

必修科目として内科、外科、救急、小児科、産婦人科、麻酔科、精神科、地域医療を2年間でローテーション研修し、内科・小児科研修時に並行して合計4週の外來研修を行います。また、32週の選択研修期間をもうけ、既習科目の再履修や選択科目(整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、形成外科等※)の履修等、臨床研修の基本理念でもある幅広く臨床医学の素養を習得できるための科目の選択ができるよう配慮しています。救急医療の研修については特に力を入れ、8週の特設研修期間以外に毎月3回程度当直業務を指導医等とともに担当し、継続的な救急医療の研修ができるように工夫しています。

さらに臨床研修修了後に当院内科・外科専門医研修プログラムを目指す方は、内科・外科重点コースも選択できます。

※選択科目には研修プログラム規程に基づく一部制約あり。

## ローテーションスケジュールの一例

1年次スケジュール	内科				内科		外科		救急	救急	救急	麻酔
2年次スケジュール	小児	産婦	精神	地域	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択

・必修部分のローテーションは病院側で指定します。必修科目のうち、内科は呼吸器内科、循環器内科、血液内科と内分泌代謝内科、消化器内科、腎臓内科から3科を原則8週ずつ継続して研修します。外科は外科・消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科から研修する1科を、救急については、救急科8週に加え整形外科又は脳神経外科のいずれかをローテーションします。



応募手続		応募資格		
必要書類	第119回医師国家試験(令和7年実施)を受験する者で、マッチングシステムに参加する者			
募集締切	履歴書、卒業(見込)証明書、成績証明書			
選考方法	筆記試験(予定)、面接 ※詳細はホームページをご確認ください。			
選考時期	令和6年8月(予定)			
応募連絡先	担当課	教育研修管理センター	担当者	竹田・佐藤
	T E L	054-253-3125	F A X	054-253-3155
	E-mail	kyouiku@shizuokahospital.jp		